

人工股関節・膝関節置換術後の QOL 改善因子に関する  
後ろ向きおよび前向き観察研究

研究に関する情報の公開

研究議題名	人工股関節・膝関節置換術後の QOL 改善因子に関する後ろ向きおよび前向き観察研究
研究方法	観察研究
研究の対象	2023 年 10 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までの間に当院を受診し、人工股関節置換術または人工膝関節置換術を受けられた方。
研究期間	倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日まで。
研究目的	人工股関節全置換術（THA）および人工膝関節置換術（TKA/UKA）は、変形性関節症など末期関節疾患に対する有効な治療法で広く施行されています。しかしながら術後の生活の質（Quality of life；QOL）や患者報告アウトカム（PROMs）の改善度には個人差があり、一定割合の患者さんでは期待される改善が得られず症状が残存することが報告されています。本研究では、当院で術前評価および術後フォローアップが行われた人工股関節・膝関節置換術後の患者さんを対象に、PROMs および QOL の縦断的变化を評価し、改善に関連する因子を探索します。本研究は人工股関節・膝関節置換術後の QOL 向上に寄与することが期待されます。
研究概要	<p>カルテより下記の情報を収集します。手術前後でのこれらの推移を明らかにするとともに、PROMs の改善に影響する因子を検討します。これらの項目は通常の診療の一環として診療録に記載されているものであり、本研究の参加によって特別に追加して収集する項目はありません。</p> <p>個人情報の取扱い：収集した情報は研究用 ID を付与し連結可能匿名化して管理します。対応表は研究データと分離して保管し、研究関係者のみにアクセスを限定します。</p> <p>カルテから収集する項目：</p>

	<p>【PROMs】Oxford Hip Score（股関節の患者さん）、Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score（膝関節の患者さん）、EQ-5D、Pain Catastrophizing Scale など</p> <p>【身体機能】歩行速度、関節可動域など</p> <p>【背景情報】年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、手術日、併存疾患など</p>
研究体制	<p>東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック 整形外科 黒坂 健二、渡部 直人</p> <p>同 リハビリテーション科 野尻 周佑</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック リハビリテーション科 理学療法士・野尻 周佑</p> <p>〒136 - 0071 東京都江東区亀戸 5-1-2 LIV 亀戸 2 4F TEL：03-5875-5765</p>